



大田区立高畑小学校 学校だより 10月号

令和4年9月30日(金)発行 校長 室伏 亜紀

〒144-0056 西六郷3-28-23

<http://www.ota-school.ed.jp/takahata-es/index.html>

古きをたずねて新しきを知る。

副校長 齋藤 恭浩

令和3年に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が新たに世界遺産に登録された影響でしょうか、最近、様々なメディアで「土偶」や「縄文土器」について見聞きする機会が増えてきました。

土偶は、今から1万6000年ほど前から3000年ほど前まで続いた縄文時代(地域によって差があります)に日本国内で作られた土製の人形のことで、一般には、その多くは女性をかたどっており、祭祀等に用いられたと考えられています。また、人型の土偶は数多く見られますが、どれも抽象的なデザインであり、何やら人間以外のものの特徴を模しているようにも見えます。私が子どもの頃読んだ雑誌でも、「土偶は古代の人が出会った宇宙人を表現しているのだ。」というような読み物が載っていたのを覚えています。また、夏休み中に読んだ、「土偶を読む」(竹倉史人著・晶文社)では、土偶の多くはその時代・その地域に身近だった榎の実や栗、里芋などを擬人化したものであるという考えが述べられていました。

古代の工芸品であり、未熟な文化による粗野な存在と捉えられていた土偶や縄文土器に芸術的価値を見出した一人が、「太陽の塔」などで有名な岡本太郎でした。上野の国立博物館で初めて縄文の遺物を目にした岡本氏は、「何だこれは!」と叫び声をあげたそうです。現在、東京にも縄文の土偶や土器をモチーフにした土産屋がたくさんあり、人気だそうです。おそらく土偶の形のお菓子や土器の形のキーホルダーを初めて目にした現代人は、岡本氏と同じような気持ちでそれらを手にとっているのでしょうか。古いけど新しい。そこが魅力なのだと思います。

小学校の教科書における記述にも、少しずつですが変化が見られています。まずそもそも、縄文式土器・弥生式土器ではなく、縄文土器・弥生土器と表記するようになってきました。同じように、高床式倉庫ではなく高床倉庫と表記します。(歴史用語ではありませんが、リアス式海岸もリアス海岸です。)また、縄文時代と言えば、人びとは農耕を行わず、家族単位などの小集団を形成し、獣や魚介・木の实などを求めて移動していたと習った保護者の方も多いと思います。現行の教科書や資料集でも狩猟や移動などの記述はありますが、500人規模の大きな集団でむらのようなものを形成していたことに触れています。近年の研究では、集落の周りの杉林を年月をかけて食料や建材となる栗の林に作り変えていたという結果が報告されています。

高畑小の図書室でも、今後縄文時代や弥生時代に関する図書を揃えていく予定です。みなさんも古くて新しい縄文時代について親しんでみてはどうでしょう。

(実際に土偶を見てみたいという場合は、台東区上野の国立博物館、あるいは渋谷区の國學院大學博物館が比較的行きやすいと思います。)

10月の行事予定



SC: スクールカウンセラー来校日

(SC来校日につながる、相談室の電話番号 080-5977-6195)

1	土	都民の日	SC
2	日		
3	月	読書月間(～28日) 読み聞かせ 委員会活動 生命尊重週間(～8日)	
4	火	生活科見学(2年) 自転車安全教室(3年)	SC
5	水	午前授業	
6	木		
7	金	学校公開①(1・2・3・5校時公開) セーフティ教室(5・6年) 情報モラル講習(4校時 保護者)	SC
8	土	学校公開②(1～3校時公開) 土曜補習教室	
9	日		
10	月	スポーツの日	
11	火	安全指導日(乗り物の安全)	SC
12	水	縦割り班活動(1校時) 避難訓練(地震火災)	
13	木		
14	金	歯科検診(全)	SC
15	土		
16	日		
17	月	クラブ活動	
18	火		SC
19	水	縦割り班全校遠足(3・4校時)	
20	木	校外学習(5年)	
21	金		SC
22	土		
23	日		
24	月	クラブ活動 早寝・早起き・朝ごはん週間(～28日)	
25	火	食育出前授業(2年)	SC
26	水		
27	木	生活科見学(1年)	
28	金	社会科見学(3年)	SC
29	土		
30	日		
31	月	委員会活動	

<教育実習生の紹介>

川村 駿介さん 10月3日(月)～28日(金) 3年4組で、
横山 佳代さん 10月3日(月)～14日(金) 5年3組で、
実習します。

生命尊重週間・人権週間

人権教育担当 竹村 伊織

高畑小では、人権教育として、道徳や各教科、特別活動などの時間を使い、「子どもたちが自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度」を育てるための活動に計画的に取り組んでいます。

10月3日(月)～8日(土)の一週間は高畑小「生命尊重週間」です。道徳の授業では、「生命尊重」、「思いやり」や「いじめ」などの題材を扱って授業を行います。他にも、給食指導で「命をいただいている」という意識を高めさせたり、学級や御家庭で飼育・栽培している動植物などの世話を愛情をもってするように働きかけたりします。

また、12月12日(月)～16日(金)には「人権週間」に取り組めます。人権週間に向けて各学年で、ポスターや習字、標語など作成しました。12月の保護者会の折にご覧いただければと思います。それぞれの言葉や絵の中には児童の願いや思いが表れています。

人権に関して考える良い機会です。御家庭でもぜひ、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」の大切さについて話し合ってみてください。



10月の生活目標「力を合わせて仕事をやりとげよう」

生活指導部 伊勢 茉莉子

- 自分や班の仕事に責任をもって取り組もう。
- 協力してそうじをしよう。
- 係や当番の仕事をすすんでしよう。
- 早寝早起き朝ごはんに取り組もう。

気持ちよく過ごせる学校にするために、協力し、最後までやりとげることを大切にしていきます。

読書月間

図書館教育部 井上 さやか

今年の読書月間は、10月3日(月)～10月28日(金)です。図書委員おすすめの本の掲示、教員による読み聞かせ等を期間中に行います。また、今年も読み聞かせの会の方々が、本の楽しさを子どもたちに伝えるイベントを企画してくださっています。

保護者の皆様にも、家庭学習の一環として、「家読」に御協力をお願いいたします。

自分の興味のある本、学習に関係する本などさまざまな本と出会える機会になるように、読書月間を盛り上げていきます。

『秋深し』 6年生

- ・水たまり反射で光る流れ星
F・I
- ・グラントも服もびしよぬれ秋の虹
T・S
- ・柴犬や紅葉くわえて散歩する
T・R
- ・初紅葉ともに染まりし信号機
T・M
- ・外に出て風を感じる秋の暮
E・R
- ・空見上げ夕日がひかり秋の暮
T・Y
- ・美しく紅葉がそよぐ風吹かれ
T・K
- ・紅葉狩り秋色あふれ落ちる赤
K・S
- ・寒き朝霧の向こうに光あり
M・S
- ・赤とんぼ私の思いと飛んでゆけ
M・H
- ・梨剥いて月にナイフを近づけて
S・M
- ・鈴虫の音色が響く夜もすがら
Y・A